

議会名	所属会派	質問者	質問日	区分	答弁
H30. 2 定例	公 明 党	曾 田 聡	3 / 8 (木)	一般	部長

1 S D G s について

2015年に国連加盟国が全会一致で採択したのが、「持続可能な開発目標」(S D G s)である。

このS D G s達成への取組を地方創生に活用する動きもある。北海道下川町では、S D G sへのアクションが地域の課題解決と活性化につながるとして、政策の体系化に取り組んでいる。他にも、福井県や水俣市、福岡市などが、地域の強みと課題を見つけるツールとしている。

また、自治体の予算が限られる中で、事業の在り方を見直す検討材料になるともいわれている。

本県では、財政が厳しい中、今現在の課題を解決しつつ、次世代に何を残していくのか、まさに問われようとしている中、明治150年の本年、新たな150年を目指して、「3つの維新」への挑戦が始動されようとしている。

また、国においても、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも掲げられ、徐々に全国の自治体でもS D G sの理念を活かした取組が進みつつある中、山口県においてもS D G sに基づいた施策の展開を推進していただきたいと考えるが、今後どのように取り組まれるのか、所見を伺う。

S D G s についてのお尋ねにお答えします。

S D G s は、国連で採択された国際社会全体の開発目標であり、国連加盟国は、その達成に向けて取り組むことが期待されています。

このため、国においては、S D G s の達成に向けて推進本部を設置して実施指針を策定し、あらゆる人々の活躍の推進、成長市場の創出や地域活性化、強靱な国土の整備、循環型社

会など8つの優先課題を掲げて、積極的に取組が進められているところです。

さらに、昨年12月に改訂された国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、SDGsの達成に向けた観点を取り入れ、地方の持続的なまちづくりなどの取組を推進することで、地方創生の更なる推進につなげていくとされています。

県においては、これまでも、市町や企業、大学、団体等と連携して、女性の活躍促進、次世代産業の育成、中山間地域の振興、道路や港湾などのインフラ整備、リサイクルの推進などに取り組んでおり、こうした県の取組は、SDGsと重なる部分が多いと考えています。

国からは、地方においても、SDGs達成に向けた取組の推進が求められており、また、その推進は、本県が進める地方創生や県づくりにも資することから、県としては、今後、SDGsの観点もしっかりと踏まえながら、施策の展開を図ってまいります。